

# Job

## Chapter 31

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

בְּרִית בְּרַתִּי לְעֵינַי וְיָמָּה אֶתְבּוֹן עַל-בְּתוּלָהּ: 1  
娘を 若い-女を 見つめようか そして-なぜ 私の-目と 私は-結んだ 契約を  
[H1330](#) [H0995](#) [H4100](#) [H3772](#) [H1285](#)

わたしは、わたしの目と契約を結んだ、どうして、おとめを慕うことができようか。

וְיָמָּה תִּלְקַּח אֱלֹהֵי מִמְעַל וְנִחַלְתָּ שְׂרָיִי מִמַּרְמִים: 2  
上からの 神の 分け前か そして-何が 高き-所からの 全能者の

もしそうすれば上から神の下される分はどんなであろうか。高き所から全能者の与えられる嗣業はどんなであろうか。

הֲלֹא-אֵיךְ לְעֵנָל וְנֹכַח לְפַעְלֵי אֲוֵן: 3  
破滅では-ないか わざわいが 不正な-者に 不正を 行う-者たちに

不義なる者には災が下らないであろうか。悪をなす者には災難が臨まないであろうか。

הֲלֹא-הוּא יִרְאֶה דְרָכַי וְכָל-צְעָדִי יִסְפּוֹר: 4  
見ては-いないか 彼は 見ている 私の-道を 数えている 私の-歩みを

彼はわたしの道のみそなわし、わたしの歩みをことごとく数えられぬであろうか。

אִם-הֲלֹכְתִי עִם-שָׂוְא וְתַחַשׁ עַל-מְרֻמָּה רַגְלִי: 5  
私が-歩んだなら もし 偽りと 共に 欺きに 欺きに-向かって 私の-足が

もし、わたしがうそと共に歩み、わたしの足が偽りにむかって急いだことがあるなら、

יִשְׁקָלְנִי בְּמֵאזְנֵי-צֶדֶק וְיָדַע אֱלֹהֵי תִמְתִּי: 6  
量ってください-私を 正しい-秤で 正義の 神は 知るだろう 私の-誠実を

(正しいはかりをもってわたしを量れ、そうすれば神はわたしの潔白を知られるであろう。)

אִם-תִּטָּה אֲשֶׁרִי מִנִּי תִהְיֶה וְאַחַר עֵינֵי הַלֵּךְ לִבִּי: 7  
それたなら もし 私の-歩みが 道から 道から その-道から 従って 私の-目に

וּבְכַפִּי יָבִיב מְאִים: 8  
そして-私の-手に 付いたなら 汚れが

もしわたしの歩みが、道をはなれ、わたしの心がわたしの目にしたがって歩み、わたしの手に汚れがついていたなら、

אֲרַעָה וְאַחַר יֹאכְל וְנִצָּצְאֵי יִשְׂרָשׁוּ: 8  
蒲いたものを 他-の-者が 食べよ そして-私の-子孫は 引き抜かれよ

わたしのまいたのを他の人が食べ、わたしのために成長するものが、抜き取られてもかまわない。

9 אִם- נִפְתָּה לְבִי עַל- אִשָּׁה וְעַל- פֶּתַח רֵעִי  
もし 誘われたなら 私の-心が 女に-よって 女に 隣人の  
H0802 H0312 H7453 H6607

אֲרֻבְתִּי:  
私が  
H0693

もし、わたしの心が、女に迷ったことがあるか、またわたしが隣り人の門で待ち伏せしたことがあるなら、

10 תִּטְטֵן לְאֶחָד אִשְׁתִּי וְעַלֶּיהָ יִכְרַעוּן אֲחֵרִין:  
粵いて-かけよ 他の-者の-ために 私の-妻が かつめよ 彼の-者たちが  
H2912 H0312 H0802 H3766 H0312

わたしの妻が他の人のためにうすをひき、他の人が彼女の上に寝てもかまわない。

11 כִּי- הוּא | הִיא ( זָמָה | וְהִיא | ) עוֹן פְּלִילִים:  
なぜなら それは それは 恥だから それは 咲きである 裁きの  
H1931 H1931 H2154 H1931 H5771 H6414

これは重い罪であって、さばきびとに罰せられるべき悪事だからである。

12 כִּי אֵשׁ הִיא עַד- אֲכָלוּ וְבָקְלוּ- תְּבוּאָתִי תִשְׁרָשׁ:  
まことに 火であり それは 滅びの-場まで 滅びの-場まで 焼き尽くす そして-すべての  
H0784 H1931 H5704 H0011 H0398 H3605  
私の-収穫を 根絶やしにする  
H8327 H8393

これは滅びに至るまでも焼きつくす火であって、わたしのすべての産業を根こそぎ焼くであろう。

13 אִם- אֲמַאֵס מְשַׁפֵּט עַבְדִּי וְאִמָּתִי בָרָכָם עִמָּדִי:  
もし 私が-退けたなら 権利を 私の-僕の 訴えた-とき 私に  
H4941 H5650 H0519 H7378 H5978

わたしのしもべ、また、はしためがわたしと言い争ったときに、わたしがもしその言い分を退けたことがあるなら、

14 וְיָמָה אֶעֱשֶׂה כִּי- יָקוּם אֱלֹהִים וְיִפְקֹד אֲשִׁיבֶנּוּ:  
そして-何を 私は-するだろう もし-立ち上がるなら 神が 立ち上がるなら 私は-答えようか 何を 訪れるなら  
H4100 H4100 H7725 H4100

神が立ち上がられるとき、わたしはどうしようか、神が尋ねられるとき、なんとお答えしようか。

15 הֲלֹא- בְּבֶטֶן עֲשִׂנִי עָשָׂהוּ וְיִכְנֹנּוּ בְּרַחֲם אֶחָד:  
同じく 胎内で 私を-造った-方が 彼をも-造った そして-形作った 胎内で 同じ  
H3808 H0990 H2656 H1800 H0490 H0259

わたしを胎内に造られた者は、彼をも造られたのではないか。われわれを腹の内に形造られた者は、ただひとりではないか。

16 אִם- אֲמַנֵּעַ מִתְּפִיץ רְלִים וְעֵינַי אֶלְמַנָּה אֶכְלָה:  
もし 私が-拒んだなら 願いを 貧しい-者の 衰えさせたなら やもめの 目と  
H4513 H2656 H1800 H0490 H3615

わたしがもし貧しい者の願いを退け、やもめの目を衰えさせ、

יְתוּם אָכַל וְלֹא- לִבְדֵּי פָתִי וְאָכַל 17  
 孤児が 食べなかったなら そして-食べなかったなら 一人で 私の-パンを そして-食べたなら  
[H3490](#) [H0398](#) [H3808](#) [H0905](#) [H0398](#)

מִמֶּנָּה:  
 それから

あるいはわたしひとりで食物を食べて、みなしごに食べさせなかったことがあるなら、

אֲנִינָהּ: אִמִּי וּמִבְטָן כָּאֵב נִדְלַנִּי מִנְעוּרַי כִּי 18  
 導いた-彼女を 私の-母の そして-母の-胎内から 父の-ように 育てた-私は 若い-時から まことに  
[H5148](#) [H0517](#) [H0990](#) [H0001](#) [H1431](#)

(わたしは彼の幼い時から父のように彼を育て、またその母の胎を出たときから彼を導いた。)

לְאֶבְיוֹן: כְּסוּת וְאִין לְבוּשׁ מִבְלִי אֹבֵד אֶרְאָה אִם- 19  
 貧しい-者に 覆いが そして-ないなら 衣服なく 着る-物なく 滅びゆく-者が 私が-見たなら もし  
[H0034](#) [H3682](#) [H0369](#) [H3830](#) [H1097](#) [H0006](#) [H7200](#)

もし着物がないために死のうとする者や、身をおおう物のない貧しい人をわたしが見た時に、

יִתְחַמֵּם: כֶּבֶשׂי וּמִנָּי (חֲלָצוֹן) (חֲלָצוֹן) בְּרִכְוִי לֹא אֶרְאָה אִם- 20  
 温まったなら 私の-羊の そして-毛で 腰が 彼の 私を-彼の 祝福しなかったなら もし  
[H2552](#) [H3532](#) [H1488](#) [H2504](#) [H2504](#) [H1288](#) [H3808](#)

その腰がわたしを祝福せず、また彼がわたしの羊の毛で暖まらなかったことがあるなら、

אֶרְאָה כִּי יָדַי יְתוּם עַל- הַנִּיפּוֹתַי אִם- 21  
 見たから なぜなら-見たから 私の-手を 孤児に 孤児に-対して 私が-振り上げたなら もし  
[H7200](#) [H3027](#) [H3490](#)

עֲזָרְתִּי: בְּשַׁעַר  
 私の-助けを 門で  
[H5833](#) [H8179](#)

もしわたしを助ける者が門にいるのを見て、みなしごにむかってわたしの手を振り上げたことがあるなら、

כְּתָפֵי מִשְׁכָּמָה תִּפּוֹל וְאַזְרְעֵי מִקְנֵה תִּשְׁבֵּר: 22  
 私の-肩が 落ちよ 肩から 私の-腕が 折れよ 関節から  
[H3802](#) [H5307](#) [H7929](#) [H0248](#) [H7665](#) [H7070](#)

わたしの肩骨が、肩から落ち、わたしの腕が、つけ根から折れてもかまわない。

אֲנִי: לֹא וּמִשְׁאֲתוֹ אֵל אֵיד אֵלַי פָּחַד כִּי 23  
 私は 耐えられなかった そして-その-威光に 神の 災いが 私には 恐れだった まことに  
[H3201](#) [H3808](#) [H7613](#) [H0410](#) [H0343](#) [H0413](#) [H6343](#)

わたしは神から出る災を恐れる、その威光の前には何事もなすことはできない。

מִבְּטָחִי: אָמַרְתִּי וְלִקְתָּם כֶּסֶלִי זָהָב שְׁמַתִּי אִם- 24  
 私の-頼みと 私が-言ったなら そして-純金に 私の-望みと 金を 私が-置いたなら もし  
[H4009](#) [H0559](#) [H3800](#) [H3689](#) [H2091](#)

わたしがもし金をわが望みとし、精金をわが頼みと言ったことがあるなら、

מְצָאָה אִם- 25  
得たと 豊かな 豊か 多し  
H4672 H3524 H2428 H8055

יָדִי:  
私の-手が  
H3027

わたしがもしわが富の大いなる事と、わたしの手に多くの物を獲た事とを喜んだことがあるなら、

אֶרְאֶה אֹר- 26  
私が-見たなら もし  
H7200 H0216 H3394 H3368 H1980

わたしがもし日の輝くの見、または月の照りわたって動くのを見た時、

וַיִּפְתָּ בְּסֵתֶר לִבִּי וַתִּשָּׂק וַיְדַבֵּר יְהוָה:  
そして-誘われたなら 私の-心が 密かに  
H6310 H3027

心ひそかに迷って、手に口づけしたことがあるなら、

גַּם- הוּא עֲנֹן פְּלִילִי כִי- 28  
それも-また それは 咲きである 裁きの なぜなら-私が  
H1571 H1931 H5771 H6416 H3584 H0410 H4605

これもまたさばきびとに罰せらるべき悪事だ。わたしは上なる神を欺いたからである。

אִם- אֲשַׁמַּח בְּפִיד מְשֻׁנְאֵי וַתִּתְעַרְרְתִּי כִי- 29  
私が-喜んだなら もし 滅びを 私を-憎む-者の 口に  
H8055 H6365 H8130 H5782 H4672

わたしがもしわたしを憎む者の滅びるの喜び、または災が彼に臨んだとき、勝ち誇ったことがあるなら、

וְלֹא- נָתַתִּי לַחַטָּא חֲכִי לְשֹׂאֵל בְּאַלְהָ 30  
そして-許さなかった 私は-与えなかった 罪を-犯すことを 私の-口に 求めることを  
H3808 H5414 H2398 H2441 H7592 H0423

נַפְשׁוֹ:  
彼の-命を  
H5315

(わたしはわが口に罪を犯させず、のろいをもって彼の命を求めたことはなかった。)

אִם- לֹא אָמְרוּ מִתֵּי אֶחָדִי מִבְּשָׂרוֹ 31  
確かに 言わなかったか 言った 人々が 私の-天幕の 誰が-くれるか くれるか 彼の-肉で  
H3808 H0559 H4962 H0168 H4310 H5414 H1320

לֹא נִשְׂבַּע:  
者は-いないと 満足しない  
H7646 H3808

もし、わたしの天幕の人々で、『だれか彼の肉に飽きなかった者があるか』と、言わなかったことがあるなら、

בְּחוּץ לֹא- יָלִין נֹר יְדִלְתִּי לְאֶרֶח אֶפְתָּח:  
外で 泊まらせなかった 旅人を 旅人を 私の-戸を 旅人に 旅人は-開いた  
H2351 H3808 H1616 H0734

(他国人はちまたに宿らず、わたしはわが門を旅びとに開いた。)

אִם- 33  
כְּסִיתִי 私が-隠したなら  
כְּאָדָם 人の-ように  
פָּשַׁעִי 私の-背きを  
לְמָמוֹן 隠すために  
בְּחֵבִי 私の-懐に  
עֲוֹנִי: 私の-咲きを  
H5771 H2243 H2934 H6588 H0121 H3680

わたしがもし人々の前にわたしのとがをおおい、わたしの悪事を胸の中に隠したことがあるなら、

כִּי 34  
אֲעָרוֹץ 私が-恐れたのは  
הַמָּוֶן 群衆の  
רַבָּה 大きな  
וּבִוֵּז- 軽蔑が  
מִשְׁפָּחוֹת 氏族の  
יִחְתְּנִי 私を-恐れさせた  
וְאֵלֶּם 黙り  
H2865 H4940 H0937 H6206  
לֹא- 出なかった  
אֲנִי 出なかった  
פְּתַח: 戸口から  
H6607 H3318 H3808

わたしが大衆を恐れ、宗族の侮りにおじて、口を閉じ、門を出なかったことがあるなら、

מִי 35  
יִתֶּן 与えて-くれるか  
וְלִי 私に  
שִׁמְעַתְּ 聞いて-くれる-者を  
לִי 私に  
הֵן 見よ  
תּוֹי 私の-署名だ  
שְׂרִי 全能者が  
H7706 H8420 H2005 H8085 H5414 H4310  
יַעֲנֵנִי 私に-答えてください  
וְסִפְרֵךְ 書いた  
אִישׁ 訴えの  
רִיבִי: 訴えの  
H7379 H0376 H3789

ああ、わたしに聞いてくれる者があればよいのだが、(わたしのかきはんがここにある。どうか、全能者がわたしに答えられるように。) ああ、わたしの敵の書いた告訴状があればよいのだが。

אִם- 36  
לֹא 私に-肩の-上に  
עַל- 担うだろう  
שְׁכָמִי 私に-肩に  
אֲשָׁאֲנוּ それを  
אֶעֱנֶנּוּ 縞むだろう  
עֲטָרוֹת 冠の-ように  
לִי 私に  
H5850 H6029 H5375 H7926 H3808

わたしは必ずこれを肩に負い、冠のようにこれをわが身に結び、

מִסְפָּר 37  
צִעְדִי 私に-歩みの  
אֲנִידֶנּוּ 私に-告げるだろう  
כְּמוֹ- 導く-者の-ように  
נָגִיד 指導者の-ように  
אֶקְרַבְנֶנּוּ 私は-近づくだろう  
H7126 H5057 H3644 H5046 H6806 H4557

わが歩みの数を彼に述べ、君たる者のようにして、彼に近づくであろう。

אִם- 38  
עָלַי 私に-対して  
אֶדְמָתִי 私に-地が  
תִּזְעַק 叫ぶなら  
וְיַחַד 共に  
תְּלַמִּיחָהּ 其の-壟の-溝が  
יִבְכּוּן: 泣くなら  
H1058 H8525 H2199 H0127

もしわが田畑がわたしに向かって呼ばわり、そのうねみぞが共に泣き叫んだことがあるなら、

אִם- 39  
כֹּחַ 其の-力を  
אֶכְלֵתִי 私に-食べたなら  
בְּלֵי- 対価-なしに  
כֶּסֶף 代金なしに  
וְנַפְשִׁי 私に-命を  
בְּעֻלְיָהּ 其の-持ち主の  
H1167 H5315 H3701 H1097 H0398

הִפְחֵתִי:  
絶ったなら  
H5301

もしわたしが金を払わないでその産物を食べ、その持ち主を死なせたことがあるなら、

תָּמוּ	כְּאַשָׁה	שְׂעֵרָה	וְתַחֲתֶיךָ	הַזֵּה	יֵצֵא	וְהִטָּה	תַּחֲתֶיךָ	
終わった	毒麦が	大麦の	そして-大麦の-代わりに	いばらが	生えよ	小麦の	小麦の-代わりに	
<a href="#">H8552</a>	<a href="#">H0890</a>	<a href="#">H8184</a>	<a href="#">H8478</a>	<a href="#">H2336</a>	<a href="#">H3318</a>	<a href="#">H2406</a>	<a href="#">H8478</a>	
						פ	: אִיּוֹב	דְּבָרָיו
						—	ヨブの	言葉は
							<a href="#">H0347</a>	<a href="#">H1697</a>

「小麦の代りに、いばらはえ、大麦の代りに雑草がはえてもかまわない」。ヨブの言葉は終わった。